

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

事業者名:

株式会社中山組

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		・経営理念を社内の掲示版に提示し、経営者が全従業員へ会社のあるべき姿を週に一度朝礼時に表明し、共有している。								8	9							17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・朝礼や打ち合わせ時に法令遵守の重要性を従業員へ発信し啓発を行っている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・強制的な値引きや取引先の偏りがないように、従業員に公正かつ適正な取引に努めるように月に一度ミーティング時に周知徹底している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・現場及び事務所作業に分けて事業活動の社会・環境に及ぼす影響についての担当者を任命し、伝達や教育をすることにより従業員が共有できる組織体制を整備している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産の保護や侵害について社内にて勉強会を行っている。								8.2	9									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の記載のある書類はその都度シュレッダーにかけている。 ・顧客の連絡先を登録メールやFAXの誤送信を予防している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客や下請け及び取引業者との連絡を密に取り合い、要望や問題点などをすぐに認識し対応ができる体制を整えている。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●	●					5				8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●	●										9		11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●	●		・将来の事業承継に備えて、全従業員に対し様々な研修を実施するとともに資格取得などを促進している。							8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●	●				1	2									12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内にて差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別やハラスメントについて社内研修を行い、差別しない体制・運営を徹底している。				4.3	5.1			8.5								16.1		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・現場の責任者が各現場ごとに安全・衛生面の注意喚起を行い、作業員全員で注意点を共有している。			3					8.8								16.2		
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・業務内容や雇用形態(正社員・パート)に関わらず同一な待遇を行っている。					5.5				8.5							10.2		
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・ノー残業デイを実施している。 ・代表者が各個人の有給の取得状況を把握し取得を促している。 ・各担当業務内容を共有し、有給取得や病欠・その他急用などの予測不能な休みも取得しやすい環境を整えている。				3		5.5			8.5			10.3						
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・スキルアップのための研修や資格取得を推奨しており、受講や資格取得時に必要な時間が確保できる体制を整えている。					4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・年に一度、事業所負担で健康診断を行っている。										8							17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務の内容や昇給等に年齢や性別などの違いによる差別的待遇はない。						4.4	5.1			8.5						10.2		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●	●	・業務の打ち合わせをウェブで行っている。 ・事業所の換気や消毒及びマスク、現場での手洗いマスクなど感染症対策を徹底している。							3		8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●	●											8	9.1		11	12				
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●	●												8	9					12	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社中山組

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物の処理・処分は専門業者に委託している。 ・現場や事業所で廃棄物の適切な分別・管理・処理を徹底している。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・季節や時間に合わせたエアコンの温度設定や照明の点灯回数などの調整をし、簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を把握し削減に取り組んでいる。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・排出ガス対策のために、最新式の建設重機や社用車の代替を促進し、簡易計算シート等を用いて温室効果ガス排出量を把握し削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・ペットボトル利用量の削減のためマイボトルの利用を促進している。 ・事業や事業外の活動においてレジ袋削減のためエコバックを使用している。 ・現場での汚濁水の排出防止の取組みとして、汚濁水をタンクに貯留して、凝集剤で処理している。					6.6									14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生紙の利用を促進している。 ・飲料や食品の容器はリサイクル可能な物を選択している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・洗い物を行う際は洗面器やバケツに水を貯めてから行う、水道を使用後は蛇口から水漏れしていないかなどを確認するなど節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15				17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・重機を導入する際は、排ガス低減や低振動車を購入し環境に配慮した製品を選定している。										9.4		12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・事業や個人の活動において消費期限に近い弁当やパンや飲み物、また規格外の野菜などを購入し食品ロス削減に取り組んでいる。 ・来客用の茶菓子等のストック量は最低限にとどめている。		1	2			6.4							12.3		14	15			17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事業所敷地内の緑化に努めており、季節毎の植物や花などを植栽し維持・管理に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15				17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			・個人でマイ箸やスプーンを持参し、プラスチックのフォークやスプーンなどを使用なくし、プラスチックの使用量の削減に取り組んでいる。												12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3							
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●															7.1 7.2 7.3 7.a	9.4	11.6 11.a	12.8	13				17.2	

